

過去3年間の各学童保育所入所児童数の推移

学童保育所(該当小学校)	2005年度			2006年度			2007年度			現行施設の 建設年月	備 考
	学年	人数	合計	学年	人数	合計	学年	人数	合計		
たまむし (東小学校) 1964年12月開設	1年	20	67	1年	28	75 (2)	1年	36	86 (2)	1988年3月 RC2階 育成室 167.2㎡	児童館と併設。
	2年	25		2年	21		2年	30			
	3年	22		3年	26		3年	20			
	4年			4年			4年				
あかね (第三小学校) 1964年12月開設	1年	34	93 (1)	1年	26	86 (1)	1年	37	96	1979年5月 木造平屋 育成室 ①123.9㎡ ②66.9㎡	2000年4月から施設が2つになった。 2007年度、①には59人 ②には37人が在籍。
	2年	29		2年	33		2年	26			
	3年	30		3年	27		3年	33			
	4年			4年			4年				
ほんちょう(本町小学校) 1966年12月開設	1年	17	50 (2)	1年	19	47 (2)	1年	19	52 (3)	1982年8月 RC2階 育成室 118.7㎡	児童館と併設。
	2年	11		2年	16		2年	18			
	3年	22		3年	12		3年	14			
	4年			4年			4年	1			
さくらなみ(第一小学校) 1968年1月開設	1年	24	62 (3)	1年	32	73 (2)	1年	20	73 (3)	1976年7月 木造平屋 育成室 135.3㎡	
	2年	14		2年	25		2年	29			
	3年	23		3年	16		3年	23			
	4年	1		4年			4年	1			
さわらび (第四小学校) 1969年4月開設	1年	25	60	1年	34	66 (1)	1年	28	77 (1)	2001年3月 木造平屋 育成室 145.5㎡	既存の小金井市の学童保育所では、最も新しい建物。
	2年	16		2年	21		2年	30			
	3年	19		3年	11		3年	19			
	4年			4年			4年				
たけとんぼ(第二小学校) 1970年4月開設	1年	20	63 (3)	1年	25	71 (2)	1年	24	73 (1)	1992年4月 木造平屋 育成室 129.6㎡	
	2年	25		2年	22		2年	27			
	3年	17		3年	24		3年	22			
	4年	1		4年			4年				
まえはら (前原小学校) 1971年4月開設	1年	20	66 (2)	1年	29	68 (1)	1年	25	78 (1)	1991年4月 木造平屋 育成室 132.2㎡	
	2年	24		2年	21		2年	31			
	3年	21		3年	18		3年	22			
	4年	1		4年			4年				
みどり (緑小学校) 1971年12月開設	1年	25	66	1年	30	74	1年	25	75	1987年3月 RC2階 育成室 119.6㎡	児童館と併設。
	2年	23		2年	23		2年	27			
	3年	18		3年	21		3年	23			
	4年			4年			4年				
みなみ (南小学校) 1973年4月開設	1年	14	46	1年	24	49	1年	19	56	1973年12月 木造平屋 育成室 104.9㎡	既存の小金井市の学童保育所では、最も古い建物となっている。
	2年	9		2年	14		2年	24			
	3年	23		3年	11		3年	13			
	4年			4年			4年				
合計	1年	199	573 (11)	1年	247	609 (11)	1年	233	666 (11)		() = 障害児数を再掲 各年度とも4月1日現在
	2年	176		2年	196		2年	242			
	3年	195		3年	166		3年	189			
	4年	3		4年			4年	2			

【解説】各学童保育所とも、定員は60人です(1990年度から)。ただし「市長が必要と認めるときは、各学童保育所の基準定員のおおむね10%の範囲内で、基準定員を超えて入所を承認することができる」(条例第2条)にもとづき、おおむね66人が入所承認人数とされています。しかし、自民・公明政治による所得格差拡大のなかで共働き家庭が年々増加し、実際には66人をはるかに超える入所受入れを余儀なくされている施設もあります。

4年生の受入れは障害児のみとなっています。これは、2001年3月定例市議会で日本共産党を含む野党会派が共同で条例改正案を提出し、「障害児は4年生まで受け入れる」ことを2001年4月実施で求めたことによるものです。条例改正案は委員会で可決。これに慌てた稲葉市長が急遽「2001年10月実施」の条例案を提出し、市長案の可決で今日に至っています。